

障がいのある人たちの就労、生活を支えるための地域関係機関と
「障がい者就業・生活支援センターにおける発達障がい者就業支援コーディネーター事業」との
効果的な連携のあり方に関する調査についてのお願い

○調査の目的

近年、発達障がいのある人たちの就労ニーズは高まっています。
発達障がいのある人たちの就労及び生活を支えるためには、労働、福祉、医療、行政等の
関係機関が有機的に連携することが必要不可欠だと考えられます。
大阪市では平成20年度から、障がいのある人たちの就労、生活を一体的に支援する役割を
もつ「障がい者就業・生活支援センター」に「発達障がい者就業支援コーディネーター事業」
という発達障がいのある人への就職についての相談窓口を置いています。
本調査では、障がいのある人たちの就労、生活を支えている様々な地域関係機関と、
[障がい者就業・生活支援センターにおける発達障がい者就業支援コーディネーター事業]との
連携について現状と課題を把握し、今後の効果的な連携のあり方を明らかにするために行います。

○ご回答をお願いしたい方

本調査票は、大阪市内の労働、福祉、医療、行政等の機関、事業所の関係部署に配布して
おります。各機関、事業所において、ご回答をお願いしたい方は以下の通りです。

○ハローワーク、市役所等行政機関・・・障がいのある人たちの支援に直接関わる方

○相談支援事業所・・・相談支援専門員の方

○医療機関・・・ワーカー、医師等、障がいのある人たちの支援に直接関わる方

○就労支援事業所・・・サービス管理責任者、就労支援担当者の方

○その他の機関・事業所・・・障がいのある人たちの就労支援に関わる方

※該当外の部署に送付された場合は、この調査の趣旨をお汲み取りの上、該当部署への
転送のご配慮をお願い申し上げます。

○調査データの管理と活用

調査の回答内容は、本調査以外では使用せず厳重に取り扱い、調査データは統計処理した
うえで公開し、個別の回答内容を公開することはいたしません。

○ご理解とご協力をお願いいたします。

ご多忙中とは存じますが、調査にご協力頂きますよう、よろしく願いいたします。

平成26年12月20日(土)までに、同封の封筒にてご返送ください。

調査についてのご質問などありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせ下さい。

大阪市発達障がい者支援センター エルムおおさか
電話:06-6797-6931

○ご回答の留意事項

- ①以下の質問項目においては、「障がい者就業・生活支援センター」を、「就ボツ」と省略します。
- ②以下の質問項目においては、「発達障がい者就業支援コーディネーター事業」を、「CO事業」と省略します。
- ③太枠内にご回答ください。
- ④ご回答につきましては、記入または、あてはまるものの番号に○をつけてください。
- ⑤ご回答内容は研究目的のみに利用し、また、機関・事業所・回答者その他個別のご回答内容が特定できる形で公表されることは一切ありませんので、ありのままをご回答ください。

1. ご回答者自身のことについてお伺いします。

問1 性別をお答えください。

1. 男	2. 女
------	------

問2 年齢をお答えください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代
--------	--------	--------	--------	--------

問3 保有している資格について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 社会福祉士	2. 精神保健福祉士	3. 介護福祉士	4. 保健師	5. 看護師
6. 臨床心理士	7. 医師	8. ジョブコーチ研修修了資格	9. その他()	

問4 所属法人・機関及び所属部署における勤続年数についてお答えください。

所属法人・機関	年	現在の所属部署	年

2. ご回答者が所属する機関・事業所のことについてお伺いします。

問5 機関・事業所の種別について、あてはまるものに○をつけてください。

1. ハローワーク	2. 障害者職業センター	3. 就労移行支援	4. 相談支援事業所
5. 医療機関	6. 市役所・区役所	7. 学校	8. その他()

問6 機関・事業所の運営主体について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 社会福祉法人	2. NPO法人	3. 医療法人	4. 株式会社
5. 有限会社	6. 行政	7. その他()	

問7 機関・事業所の所在する区について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 北	2. 都島	3. 福島	4. 此花	5. 中央	6. 西	7. 港	8. 大正	9. 天王寺	10. 浪速
11. 西淀川	12. 淀川	13. 東淀川	14. 東成	15. 生野	16. 旭	17. 城東	18. 鶴見		
19. 阿倍野	20. 住之江	21. 住吉	22. 東住吉	23. 平野	24. 西成	25. その他()			

3. 就ポツ及びCO事業との連携の現状、課題についてお伺いします。

問8 就ポツの役割や業務内容について、どの程度知っていますか。

1. よく知っている	2. 知っている	3. よく知らない	4. ほとんど知らない
------------	----------	-----------	-------------

問9 CO事業の役割や業務内容について、どの程度知っていますか。

1. よく知っている	2. 知っている	3. よく知らない	4. ほとんど知らない
------------	----------	-----------	-------------

問10 どのようなことでCO事業と連携していますか。

下記の1～13の項目について、連携の度を1～4の選択肢のうち、該当すると思われる番号を1つ選んで○をつけてください。

CO事業との連携内容の例	おおいに連携 ← → 連携していない			
	おおいに連携している	連携している	あまり連携していない	連携していない
1. 障がい者雇用や就労支援についての情報提供	1	2	3	4
2. 発達障がいの特性理解や整理の相談	1	2	3	4
3. 就職に向けた相談支援	1	2	3	4
4. 基礎訓練(障がい福祉サービス事業所等)のあっせん	1	2	3	4
5. 職場実習のあっせん、支援	1	2	3	4
6. 就職活動の支援(ハローワークへの同行等)	1	2	3	4
7. 職場定着支援(職場訪問による状況の把握等)	1	2	3	4
8. 職場実習先・雇用先企業の開拓	1	2	3	4
9. 企業の障がい者雇用に関する相談支援	1	2	3	4
10. 健康、金銭管理等の日常生活に関する支援	1	2	3	4
11. 住居、年金、余暇活動等、地域生活に関する支援	1	2	3	4
12. 職場復帰に関する相談支援(休職中の方)	1	2	3	4
13. 関係機関同士のネットワークづくり	1	2	3	4

問11 その他、CO事業と連携していることについて自由に記述してください。

資料 2-2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業アンケート（関係機関向け）

問12 これまでCO事業から支援を依頼されたケース(紹介されたケース)がありますか。

1. ある 2. ない

※「ない」とおこたえの場合は、問17へお進みください。

問13 これまでに何件程度依頼(紹介)がありましたか。

1. 1～3件 2. 4～6件 3. 7～9件 4. 10件以上

問14 依頼(紹介)されたケースの相談内容はどのようなものでしたか。

問15 依頼(紹介)される際に、困ることや課題だと思うことについて自由に記述してください。

問16 これまでCO事業に支援を依頼したケース(紹介したケース)がありますか。

1. ある 2. ない

※「ない」とおこたえの場合は、問20へお進みください。

問17 これまでに何件程度依頼(紹介)をしましたか。

1. 1～3件 2. 4～6件 3. 7～9件 4. 10件以上

問18 依頼(紹介)したケースの相談内容・目的はどのようなものでしたか。

問19 依頼(紹介)する際に、困ることや課題だと思うことについて自由に記述してください。

資料 2-2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業アンケート（関係機関向け）

問20 CO事業に期待することはどのようなことですか。

下記の1～13の項目について、期待する度合を1～4の選択肢のうち、該当すると思われる番号を1つ選んで○をつけてください。

CO事業に期待することの例	期待は大きい ← → 期待は小さい			
	非常に期待する	期待する	あまり期待しない	期待しない
1. 障がい者雇用や就労支援についての情報提供	1	2	3	4
2. 発達障がいの特性理解や整理の相談	1	2	3	4
3. 就職に向けた相談支援	1	2	3	4
4. 基礎訓練(障がい福祉サービス事業所等)のあっせん	1	2	3	4
5. 職場実習のあっせん、支援	1	2	3	4
6. 就職活動の支援(ハローワークへの同行等)	1	2	3	4
7. 職場定着支援(職場訪問による状況の把握等)	1	2	3	4
8. 職場実習先・雇用先企業の開拓	1	2	3	4
9. 企業の障がい者雇用に関する相談支援	1	2	3	4
10. 健康、金銭管理等の日常生活に関する支援	1	2	3	4
11. 住居、年金、余暇活動等、地域生活に関する支援	1	2	3	4
12. 職場復帰に関する相談支援(休職中の方)	1	2	3	4
13. 関係機関同士のネットワークづくり	1	2	3	4

問21 その他、CO事業に期待することについて自由に記述してください。

問22 CO事業への期待と比較したときに、現状についてどの程度満足していますか。

あてはまるものに○をつけてください。

1. 大いに満足	2. 満足	3. 不満足	4. 大いに不満足
----------	-------	--------	-----------

問23 その理由について、自由に記述してください。

資料 2-2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業アンケート（関係機関向け）

問24 下記にあげる1～10の「CO事業との連携の課題例」について、あなたの考えをおきかせください。1～4の選択肢のうち、該当すると思われる番号を1つ選んで○をつけてください。

CO事業との連携についての課題例	課題は大きい ← → 課題は小さい			
	大きな課題である	課題である	特に課題ではない	課題ではない
1. CO事業の役割や機能がよくわからない。	1	2	3	4
2. CO事業の具体的なサービス内容や利用の仕方がわからない。	1	2	3	4
3. CO事業担当者と日常的に連携できる関係（顔の見える関係）が出来ていない。	1	2	3	4
4. CO事業担当者の専門知識、支援スキルが不足している。	1	2	3	4
5. 各々の機関の役割や機能に対する、相互の理解が不足している。	1	2	3	4
6. CO事業を利用しても就職率、職場定着率が低く、利用するメリットが少ない。	1	2	3	4
7. CO事業の支援が就労に偏り、生活面を含めた一体的な支援がなされない。	1	2	3	4
8. 誰が主導して支援するのか（誰が全体をマネジメントするのか）曖昧になる。	1	2	3	4
9. 支援対象者の情報を効率的に共有するツール・システムがない。	1	2	3	4
10. 地域全体の有機的な連携がない。	1	2	3	4

問25 その他、CO事業との連携で課題だと感じることにについて自由に記述してください。

問26 CO事業への要望について、自由に記述してください。

本調査のために、貴重なお時間を頂きまして、誠にありがとうございました。
 回答済の本調査票は、同封の封筒で平成26年12月20日(土)までにご返送ください。

資料 2-2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業アンケート（関係機関向け）

送付先リスト

	カテゴリー	送付先	
1	■労働	ハローワーク	大阪東
2			梅田
3			阿倍野
4			淀川
5			大阪西
6			布施
7		大阪障害者職業センター	本所
8			南支所
9	■役所関係	大阪市心身障がい者リハビリテーションセンター 相談課	“はーとふる”ぶらざ
10	■相談支援事業所	大阪市障がい者基幹相談支援センター	
11	■医療機関	かく・にしかわ診療所	医師 CW
12		大阪府こころの健康総合センター	医師
13		つつみクリニック	CW
14		藤井クリニック	CW
15	■困窮者支援	大阪希望館相談センター	
16		困窮者総合相談支援室 HIPPO	
17	■職業準備・訓練	サテライト・オフィス平野	
18		ジョブジョイントおおさか	
19		アスク京橋	
20		ネクストステージ・エイブル	
21		地域活動支援センターもくれん 就労formハナキリン 就労移行支援	
22		大阪市立千里作業指導所	
23		大阪市職業リハビリテーションセンター	総合相談室
24		長居障がい者スポーツセンターらうんじ	
25	■学校	大阪情報コンピューター高等専修学校	
26		大阪ハイテクノロジー専門学校	ロボット学科
27		大阪府立松原高等学校	総合学科
28		大阪市立泉尾工業高等学校	